

『苦悩』 作…ポチ子

頭の中ではきちんとストーリーを描けているのに、

それを実際書いた途端、稚拙なものへと変わる。

想像の中の自分と、現実の自分が乖離しているのと一緒さ。

最初からくだらない、なんの価値もないものだって気づくには時間がかかる。

書きながら、下がっていく作品の価値をみて、死にたくなる。

これならいっそ、書かないほうがいいんじゃないかとも思う。

頭の中の、完璧なストーリーのままにしておけば、

こんな気持ちになることもないんじゃないかって。

何も行動しなければ、この作品は理想の中を生き続けてくれるんじ

やないかって。

でも、言葉にすると思ってしまう。

この作品は、生まれた時から無価値だったのかな。

それじゃあなんで生まれてしまったんだろう。

どうして、なんでって。そんな事に頭を支配される。

たとえ無価値じゃないとしても、

その価値を表現できない、自分の不甲斐なさに失望する。

私じゃなければ、よかったのに。ごめんね。

そんな気持ちになるんだ。